

放火されない環境づくり



火災原因の上位が「放火及び放火の疑い」!!

放火火災を防ぐには、皆様の注意が必要!!

放火火災対策のポイント

チェック!



物置や車庫は**施錠**していますか?



倉庫や車庫が**死角**になっていませんか?



門灯・玄関等などは**点灯**していますか?



郵便物や新聞が**たまって**いませんか?



ゴミの搬出は**収集日以外**に出していませんか?



敷地内に**侵入**されやすくありませんか?



車のボディカバーは**防災製品**にしていますか?



家の周りに**燃えやすい物**を置いていませんか?

放火を防ぐため、
放火されない

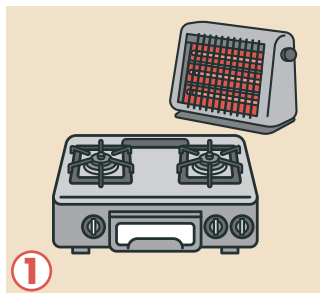
環境づくりに努めましょう。



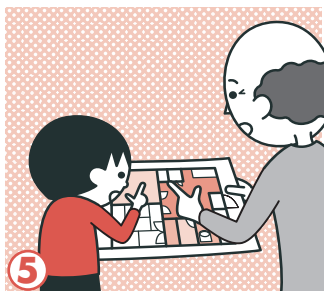
6つの対策



④ 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使用方法を確認しておく



① 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



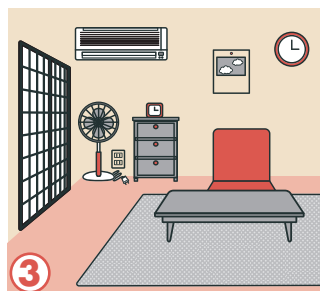
⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



② 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



⑥ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う



③ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する

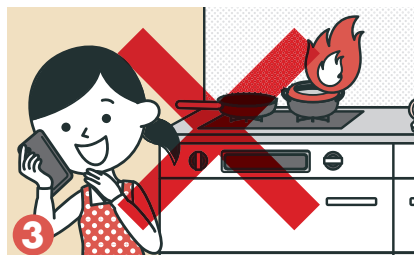
4つの習慣



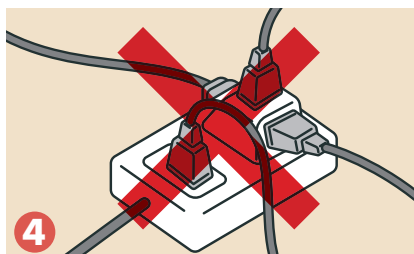
① 寝たばこは絶対にしない、させない



② ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③ こんろを使うときは火のそばを離れない



④ コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

住宅用火災警報器 ……電池は大丈夫？ 鳴りますか？

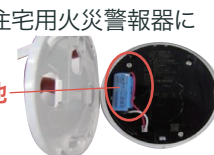


定期的な作動確認



点検ボタンを押すか点検ひもをひっぱり、定期的に作動確認をしましょう。

作動確認をしても住宅用火災警報器に反応がなければ、本体の故障か電池切れです。



ピピ…と鳴ったら取り替えどき

10年が交換の目安！

古い住宅用火災警報器は交換しましょう▶▶▶▶▶

10年

